

「ECCO遊技機」の開発

日工組「行政当局へ申請」日遊協に趣旨説明

日工組は11月26日、日遊協に対して「今後の『ECCO遊技機』の開発について」と題する文書を提出するとともに、同遊技機開発に伴う検定期の改正について、行政当局に正式に申請する旨の説明を行った。

これを受けて日遊協は翌27日、会員に「『ECCO遊技機』の開発について」と題し、要旨次のような文書を発して状況を説明した。

日工組、組合員に通告 保証書の再発行適切に

日工組は11月19日、組合員に向けて「遊技機の保証書の発行について」と題する通告を発した。

これによると、このほどある製造業者が、ホール業者が変更を加えたため検定済型式に属さなくなった遊技機について、点検・確認せずに保証書を再発行したことが発覚した。製造業者が発行する遊技機の保証書は、ホール業者が公安委員会に営業の許可申請書

「日工組は『ホール団体の総意』までは至らなかったものの、2年余の説明・協議で努力は尽くされた」として、今回の判断の至ったもの

とのこと。日工組はこれまでの説明の中で約束された事項については誠実に履行するとともに、今後継続的に報告・説明を行うとしている。当協会としても、今後日工組と定期的な報告・説明会の開催を求め、状況の把握と意見交換に務める」

や変更承認申請書を提出する際に添付するもので、設置に係る遊技機が検定を受けた型式に属するものであることを製造業者が保証する重要な書類であることを認識し、保証書の再発行の際には、ホール業者から事実関係を十分に聴取し、その発生原因、理由を明らかにした上で、再発行の可否について適切な判断を組織的に行うよう、また、再発行するにあたって当該遊技機の点検・確認が必要と認められる場合には確実に実施した上

で再発行するよう、関係部署、支店・営業所、販社等に改善措置の徹底を要請している。

これを受けて、日遊協は同月26日、会員に向けて「遊技機の保証書の発行に関する日工組通告について」と題する文書を発し、同様の趣旨の関係者への周知を要請した。

「ゴト対策4団体会議 「化物語」攻撃で協議

第54回ゴト対策に関する4団体会議は11月28日、東京・市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協のほか全商協、回胴遊商、電遊協などのオブザーバーを含め48人が出席した。

パチンコでは「海物語」「北斗の拳」など多機種に渡って玉掛かりゴトが蔓延しており、きめ細かい対応が必要とされた。パチスロの「化け物語」に対する電磁波の攻撃が急速に増え、手口に不明な部分があるが、今までにない強力電波が使われており、日工組でも対策が急ぐことにした。「モンスタハンター」に対するクラジット上げについても注意喚起された。

店長・管理職能力開発講習

来年2月、名古屋で

日遊協は、来年2月に名古屋市で行う店長・管理職能力開発講習の受講希望者を募集している。

店長・管理職能力開発講習は、ホールの店長や店長候補者、メーカー、設備機器等の管理職の方々を対象に行われている。講師陣は日遊協会員企業の経営幹部、管理職。日遊協会員以外の企業からの受講も歓迎する。会場によっては人事担当者等オブザーバーの傍聴も許可されている。

●2015年2月19日(木)
名古屋市
栄メンバーズオフィスビル

午前10時開始、午後5時半終了。受講料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員で締め切る。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

日遊協事務局

電話 03・35553・4333(代)
FAX 03・35553・4334

PSIO・不正対策室会議

「玉掛かり」と「顔認証」に不満入力

不正対策室会議(室長・伊東慎吾 日遊協常務理事)は11月17日、日遊協本部会議室で委員ら12人が出席して開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2014年10月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は636件。業界から35件、一般ファンから601件



ファンからの情報を分析した不正対策室会議

の inputs があり、2013年10月と比較すると2件減(2013年10月6

38件)で、昨年並みが続いている。

ゴトに関しては、パチンコで玉掛かり、パチスロで電磁波ゴトなどが報告されているが、情報の量が減少しており、状況の分析と今後の対策を協議した。不正情報では、ゴトとは反対に玉掛かりの店側の不正を指摘するものと顔認証カメラに関するものが多くなってきた。

中古機流通協議会

1月に「順番開催」試行 3委員会統合問題を検討

第90回中古機流通協議会(委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長)は11月6日、全商協会議室で開かれた。懸案事項の3委員会(中古機流通協議会、遊技機リサイクル推進委員会、セキュリティ対策委員会)統合に関して、「遊技機安全合同協議会」(仮称)の再々修正案が提出された。さる10月28日にセキュリティ対策委員会に提出さ

れた案を一部修正したもの。

当初は完全な統合が考えられたが、とくに中古機流通協議会は組織規程がしっかりと整備されているため変更が困難なこと等があるため、形式を連合体にして委員は同一メンバーで協議・検討を一つで行うという形となっている。

最終的には関係団体の代表者会議で決定される。案はその間さらに修正の可能性がある。また、来年1月21日に3委員会が現行メンバーのまま順番開催を試行することを申し合わせた。

提示された再々修正案の主な内容は次の通り。

【組織構成】基本的構成として合同協議会を設置し、傘下に3委員会を置く。協議会の長を合同委員長、3委員会の長をそれぞれ担当委員長と称する。協議会と3委員会の委員は同一とすることで、実質的に一体化を図り、より総合的な検討協議と効率化を図る。

【基本的な運営形態】合同協議会は2か月に1回定例開催する。合同協議会事務局は各担当委員会事務局及び部会から予定議題を聴取して開催案内に記載する。

各担当委員会事務局は事前に各

団体に担当所管事項について報告事項、審議希望事項の有無を照会する。

会議は合同委員長の司会のもとに、各担当委員長(必要により部会長も)からの報告事項を報告した後、審議予定事項の審議を行う。意思決定は合同協議会の場で行うが、発出する文書は各担当委員会の名義で行う。

ただし、自工会は中古機、リサイクル両委員会の規程関係について参考として意見を述べることもできるが、議決権は有しない。

9月の中古用と認定用の確認証紙発給状況が報告された。全商協の中古用稼働実績は5万1545件(前年対比114%)、9万5001台(同113%)、販売対チェーン店移動の比率は50%ずつだった。認定用発行枚数は1950枚(同・件数55%、台数20%)だった。一方、回胴遊商の中古用稼働実績は2万0986件(同102%)、4万0847台(同104%)、販売対チェーン店移動の比率は51%対49%だった。認定用発行枚数は1622枚(同・件数71%、台数16%)だった。



東京都・関東セキユリティ部会

日野孝次朗氏が講演

東京都・関東支部の第4回セキユリティ部会が11月26日、支部会員等31人が参加して開かれた。(株)

のぞみ総研の日野孝次朗氏が「現場における風営法等の法律解釈について」と題し、主に遊技関連企業に係る風営法等の法律解釈を、現場で起こりうる各種事例を交えて、約1時間講義した。

続いて5グループに分かれ、ゴト(情報)に関する事例と対策、現場でのトラブル(クレイマー、盗難、客とのトラブル等)について討議した。

遊技機リサイクル推進委員会

2社の視察結果を報告
いずれも改善措置が必要

第72回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志日遊協専務理事)は11月25日、日工組会議室

で開かれた。遊技機リサイクル選定業者(38社)のうち、トラブルがあった(有)共和リサイクル工業、(株)中谷組の2社の視察結果が報告されたが、いずれも不十分な内容で、さらなる改善措置の必要があるとされた。共和リサイクル工業は株式譲渡騒ぎがあり、その後一転して元に戻った経緯がある。また、中谷組は倒産した(有)松井商事を引き継いだ、当初から稼働体制が整っていないかった。

セキユリティ対策委員会、中古機流通協議会との統合案が説明された。

推進機構臨時社員総会

各団体拠出額を承認
上半期検査は979店舗

遊技産業健全化推進機構(河上和雄代表理事)は11月10日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタエンドモントで臨時社員総会を開き、今年度の機構経費負担金について各社員団体の拠出額を確定、承認可決した。一部社員団体の拠出額が未定だった。負担金合計は4億2795万2565万円、日遊協の負担分は457万4015円となっている。

今年度上半期(4月1日～9月30日)の検査活動について、全国47都道府県で979店舗(計数機検査139店舗を含む)への立入検査を行ったことが報告された。立入検査はほとんど営業時間中に行われ、一部ホールを除いて概ね良好だった。

メダル工業会総会

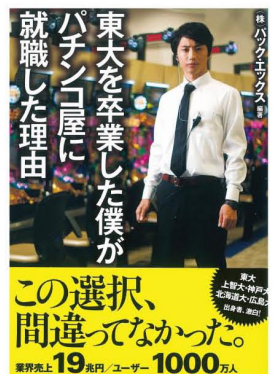
大泉政治理事長が留任

遊技場メダル自動補給装置工業会(メダル工業会)は11月28日、東京・新橋の第一ホテル東京で通常総会を開いた。第25期(13年10月～14年9月)事業報告・決算、第26期(14年10月～15年9月)の事業計画・予算を承認した。役員改選で大泉政治理事長以下役員全員が留任した。

「東大を卒業した僕がパチンコ屋に就職した理由」

(株)KADOKAWAが出版

『東大を卒業した僕がパチンコ屋に就職した理由』(写真)というタイトルの本が、このほど(株)KADOKAWAから発売された。編著者の(株)パック・エックスは、パチンコホールの採用・育成・組織改



革の支援を行っている企業。東大上智大、神戸大、北海道大、広島大等の有名大学を卒業しホール業界に飛び込んだ若手・中堅社員6人に、就職の動機、仕事、やりがいなどについてインタビューした。パチンコ業界というと、世間的にはダークなイメージで偏見を持たれているが、この6人にはその辺の屈託はなく、「好きなことに携われるから」「人事担当者の人柄に惹かれて」「成長性とビジョンに期待して」、すんなりと就職している。親に反対された人も一部にいたが、最後に親も納得した。むしろ、6人が共通して面喰ったのは、ホールなどでの想像以上の重労働だったようだ。6人の就職先はいずれも大手ホール企業で、新人・若手に割り振られる仕事の内容は一般の企業と大差なさそう。その中で6人はさまざまな部署に回され、挫折を経験しながら、充実した日々を送っている。B6判、205ページ。本体1400円+税。

九州支部役員会 「勉強会」強化など

日遊協九州支部は11月14日、福岡県遊技会館で役員会を開き、樋口益次郎支部長以下14人が出席し、活動の報告と懸案の課題について協議した。

支部活動の拡大・充実について、▽会員勉強会、オープン執行会を今後も開催し、支部会員の意見を活動に生かしていく▽勉強会にメーカーの代表を招き情報交換を図る▽本部の委員会に次世代経営者を贈り育成を図る、などを決めた。第2回で全国規模に広がった「9・9クリンデー」について、来年は各県の拠点活動を強化し、特に九遊連青年部との連携を緊密にすることになった。

東北支部・支部会議 2015年事業を協議

日遊協東北支部は11月17日、支部事務所支店会議を開き、懸案について協議した。2015年の「新春の集い」は会員との交流をメインにすること、「仙台の森」については除草の必要性が対処することなどを決めた。新入会のシンプルエアサービスの佐藤和也社長が出席し、報告意見交換が行われた。

中部支部

事件など情報共有強化 セキユリティー対策部会

日遊協中部支部は11月25日、名古屋・アイリス愛知でセキユリティー対策部会を開き、山口悟支部長ら24人が出席した。ローゴトが全盛だ

が、パチスロで電磁波ゴトが未遂例も含めて目立って来ており、注意喚起された。岐阜県関市で強盗事件があり、置き引きも多発しているため、情報共有を進めることにした。

愛知県ゴト情報対策協議会 玉掛かり、持ち込みなど

愛知県ゴト情報対策協議会が11月4日、県遊協役員室で開かれ、日遊協から山口悟支部長以下6人が参加し、愛知県遊協等合わせて15人が出席した。日遊協中部支部からのゴト対策報告などが行われたが、相変わらずパチンコの玉掛かり、パチスロの持ち込みゴトなどに関するものが多かった。

新規入会

11月20日の第4回定例理事会で、正会員1社、賛助会員2社の新規入会が承認された。(敬称略)

●新規入会(正会員)

▼株式会社アップス

代表取締役社長・井手稔

福岡市博多区豊1・8・29

販社。1996年設立。資本金1000万円。役員3人、社員12人

アルバイト1人。九州遊商、回胴遊

商加入。(推薦人・三宝商事(株)樋口

益次郎)

●新規入会(賛助会員)

▼株式会社ピーエスリサイクル東北

代表取締役・佐藤勝利

仙台市青葉区

上愛子字下十三枚田40・1

リサイクル・廃棄物収集処理業。

1988年設立。資本金1000万

円。役員5人、社員7人。東北遊商

DATA SPOT

昨年より280店舗減少。怖い継続傾向

全日遊連は11月19日、店舗数、遊技機台数の2014年10月分を発表した。店舗数は9月と比較してマイナス30店舗、1万684の店舗数は年間ペースだと昨年10月(1万964、この1年間280店舗マイナス。全国で1万店を越す総量から言えば3%足らずの減少だが、数字が継続しており、じわじわと効いてきているのは間違いない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万7504台(昨年10月275万3558台)と下がり、一方パチスロ機はプラス2万6798台(昨年10月146万8083台)と相変わらず前年を上回っているものの先細りが続いている。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成26年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,948	18	18	105 (12)	2,761,076	1,482,689	156	4,243,921
2月	10,906	5	37	113 (16)	2,752,003	1,481,748	156	4,233,907
3月	10,858	13	55	113 (22)	2,740,351	1,483,983	156	4,224,490
4月	10,847	24	30	115 (13)	2,734,689	1,488,842	156	4,223,687
5月	10,825	18	33	125 (19)	2,730,577	1,492,880	156	4,223,613
6月	10,791	3	35	124 (15)	2,719,698	1,493,101	156	4,212,955
7月	10,766	16	39	127 (12)	2,724,278	1,494,117	156	4,218,551
8月	10,746	21	44	121 (16)	2,708,717	1,495,631	156	4,204,504
9月	10,714	10	34	138 (23)	2,703,038	1,495,946	156	4,199,140
10月	10,684	4	31	134 (12)	2,696,054	1,494,881	156	4,191,091

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	259	-1
東北	580	+1
東京	604	+1
関東	1721	+1
中部	558	+2
近畿	955	-2
中国	319	+2
四国	161	0
九州	652	0
全国計	5809	+4

(2014年10月30日現在)

回胴遊商加入。(特)賛助会員。(推薦人・(株)ニラク谷口久徳)
▼有限会社平山商会
代表取締役・平山京一
東京都荒川区西日暮里2・45・14
山口ビル1F

本社移転

▼高砂電器産業株式会社
愛知県一宮市高田字池尻1番地
TEL 0586・88・7707
FAX 0586・88・7709
11月1日

会員・業界消息

雑貨・食品卸業(インターネットによる端玉菓子販売)。2003年設立。資本金800万円。役員3人、社員10人、アルバイト2人。(推薦人・NEXUS(株)阿施浩行)